

2017年11月1日
国士館100年祭記念

世界遺産

～日本の現状とこれから～

国士館大学イラク古代文化研究所

岡田保良 okaday@kokushikan.ac.jp

内容目次

1. 世界遺産はこうして決まる
2. 日本登録の世界遺産を振り返る
3. 暫定遺産リストとその候補
4. 結びーこれからどうなる世界遺産制度

1. 世界遺産 World Heritage は こうして決まる

◆ 世界遺産とは？

- ・1972年ユネスコ採択の**世界遺産条約**に基づき、
- ・世界遺産委員会が、別に定める**基準 criteria**に照らして**顕著な普遍的価値** (Outstanding **U**niversal **V**alue)を有すると認め、
- ・委員会が作成する**一覧表**に記載された**不動産** (自然遺産、文化遺産、複合遺産)。
- ・日本は1992年に条約に加盟。(20年の空白)

● 登録基準 Criteria:

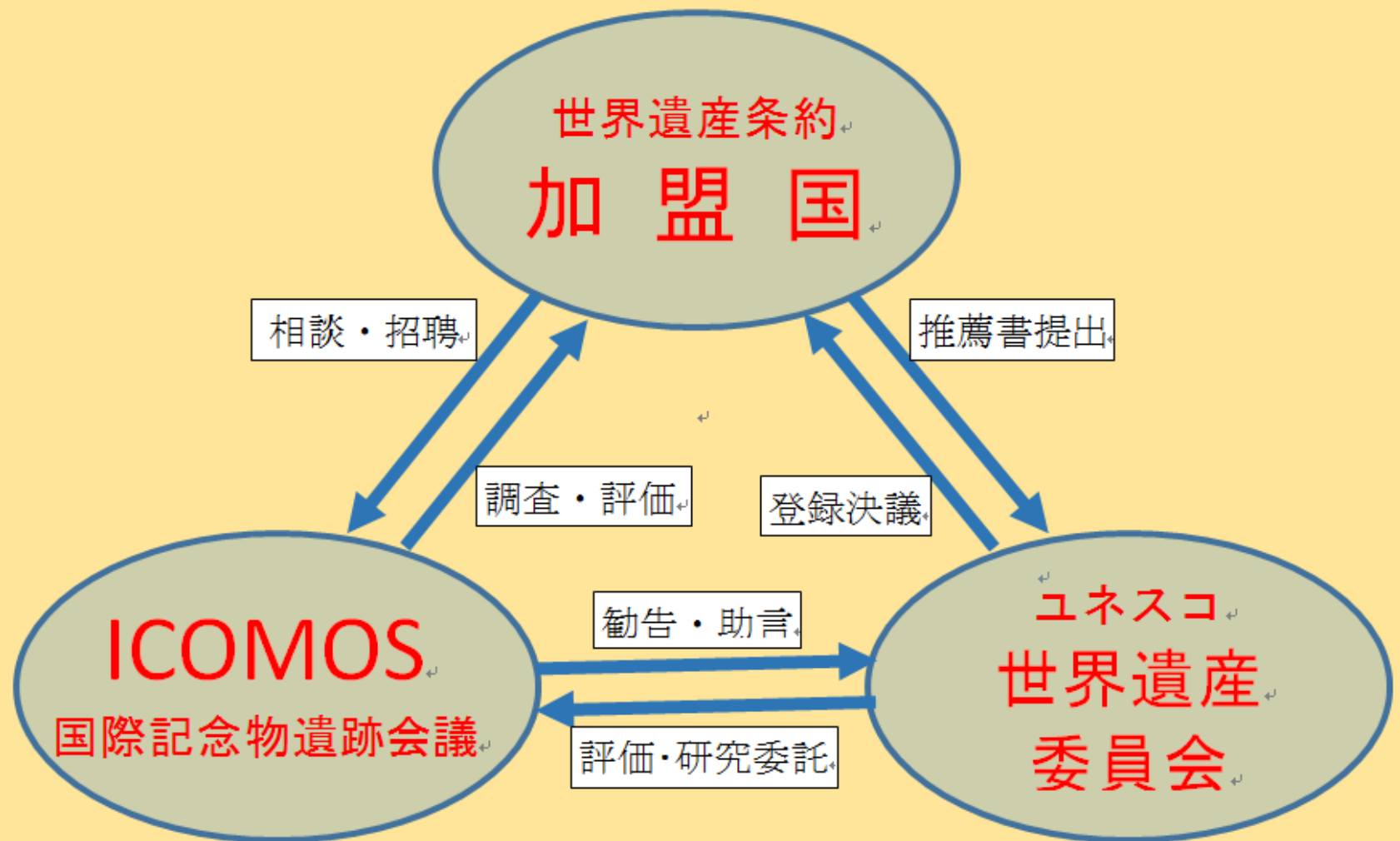
評価基準とも訳される。顕著な普遍的価値OUVを認めるか否かを判断する指標。全部で10項目。文化遺産に適用される基準(i)~(vi)。

- (i) 創造的才能を示す傑作、
- (ii) 人間らしい価値観の世界的交流の表現、
- (iii) 伝統文化・文明の稀有な証拠、
- (iv) 歴史的段階を代表する様式的規範、
- (v) 環境への優れた適応事例、
- (vi) 人類史上極めて重要な事象との関連、
- (vii) ~ (x) 自然遺産

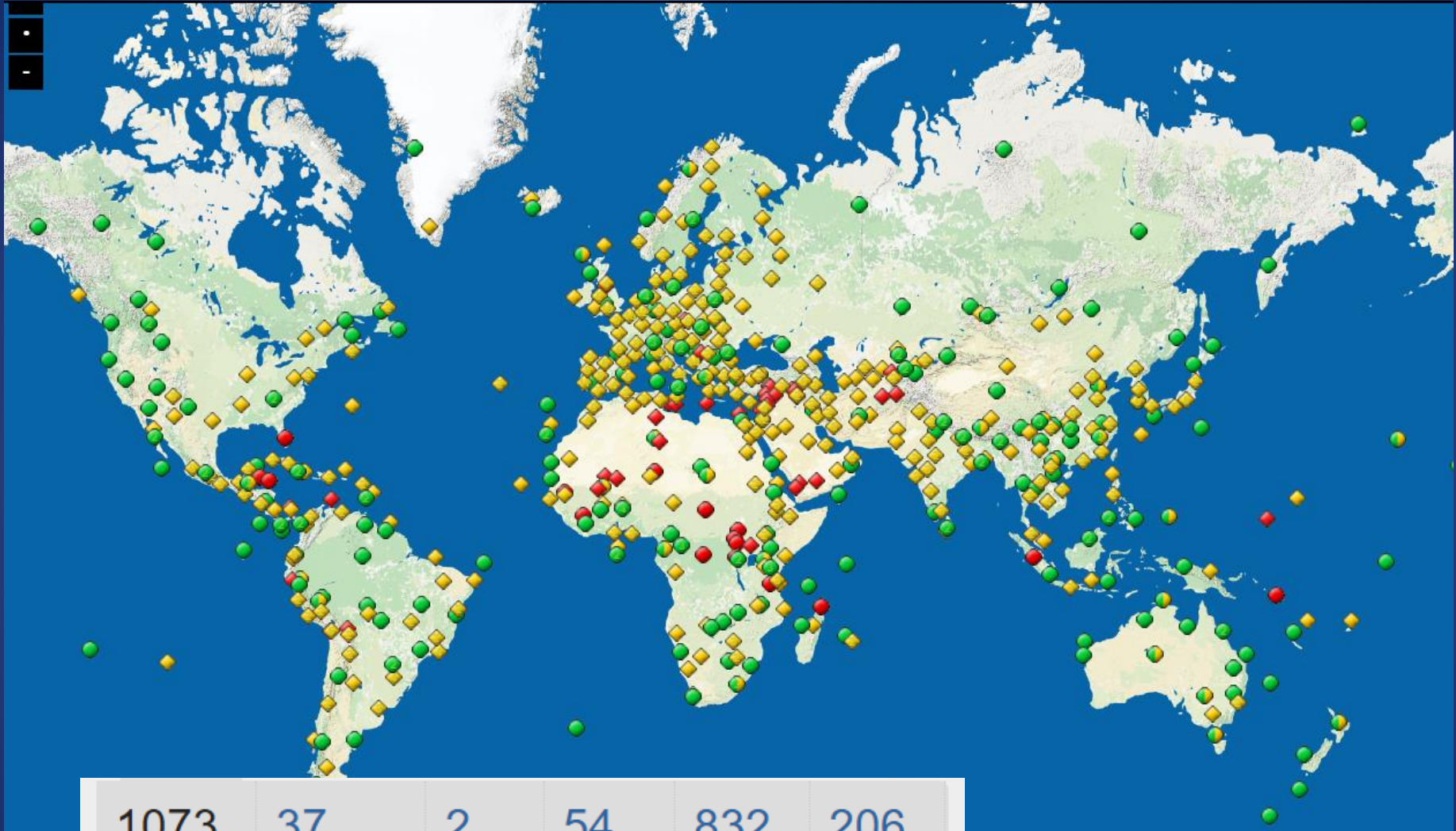
(世界遺産条約作業指針 77による)

世界文化遺産フランドを維持するための三角関係

加盟国・UNESCO世界遺産委員会・ICOMOS



◆ 世界遺産の今 (2017年10月現在)



危機
遺産

ユネスコのウェブサイトより

日本が保有する世界文化遺産一覧 (都府県、登録年次)(登録基準)

法隆寺地域の仏教建造物 (奈良、1993) (i, ii, iv, vi)

姫路城 (兵庫、1993) (i, iv)

古都京都の文化財 (京都・滋賀、1994) (ii, iv)

白川郷・五箇山の合掌造り集落 (富山・岐阜、1995) (iv, v)

原爆ドーム (広島、1996) (vi)

厳島神社 (広島、1996) (i, ii, iv, vi)

古都奈良の文化財 (奈良、1998) (ii, iii, iv, vi)

日光の社寺 (栃木、1999) (i, iv, vi)

琉球王国のグスク及び関連遺産群 (沖縄、2000) (ii, iii, vi)

紀伊山地の霊場と参詣道 (奈良・和歌山・三重、2004) (ii, ii, iv, vi)

石見銀山遺跡とその文化的景観 (島根、2007) (ii, iii, v)

平泉 — 仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 (岩手、2011) (ii, vi)

富士山 — 信仰の対象と芸術の源泉 (山梨・静岡、2013) (iii, vi)

富岡製糸場と絹関連遺産群 (群馬、2014) (ii, iv)

明治日本の産業革命遺産 — 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業 (長崎ほか、2015) (ii, iv)

国立西洋美術館 (本館) (東京、2016) (i, ii, vi) (「ル・コルビュジエの建築作品群」として)

「神宿る島」沖ノ島と関連遺産群 (福岡、2017) (ii, iii)

自然遺産

白神山地 (青森、1993) (ix)

屋久島 (鹿児島、1993) (vii, ix)

知床 (北海道、2005) (ix, x)

小笠原諸島 (東京、2011) (ix)

(2017年10月現在)

◆ 世界遺産登録のプロセス

(「世界遺産条約履行のための作業指針」による)

Step 1 各国は登録をめざす候補遺産の一覧表(暫定リスト)を、あらかじめ世界遺産委員会に提出、公表する。

日本の暫定一覧表記載資産 (道府県、記載年次)(2017年4月現在)

古都鎌倉の寺院・神社ほか(神奈川、1992)

彦根城(滋賀、1992)

飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群(奈良、2007)

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(長崎、2007)

北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群(北海道・青森・岩手・秋田、2009)

金を中心とする佐渡鉱山の遺産群(新潟、2010)

百舌鳥・古市古墳群(大阪、2010)

平泉(拡張登録)(岩手、2012)

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島(鹿児島・沖縄、2017)

※ Note 暫定遺産の意義を考える

- ・暫定遺産リストとは、各締約国が世界遺産を目指す資産の目録。
 - ・文化遺産の推薦が各国1年1件に制限されている現在、各国の歴史と文化の総体は、世界遺産一覧表のみでは、とくに後発の国々については十分に理解されない。
 - ・地域の人々が世界遺産を視野にいれることにより、地球規模で自然と文化の遺産価値、あるいはその多様性に対して目を開き、地域の誇りを育み、かつ他世界への理解と興味をつよく促す。それは平和共存の基本。
- ★ 国や人によって「暫定」の捉え方に差があり、その活用方法もいまだ定見がない。

(日本の控えめな数は評価できるか?)

Step 2 推薦文書 Nomination Dossier (英文または仏文)の作成。
加盟国の責任でユネスコ世界遺産センターに文書を提出する。
(毎年2月1日までの申請が審査対象)

Step 3 文化遺産の評価はイコモスICOMOSに委託される。
・現地調査 evaluation mission を含む多方面からの情報収集をもとに、パリ本部におけるイコモス審査会(パネル)を経て勧告案作成。

Step 4 イコモス勧告に基づき、世界遺産委員会が一覧表への記載(=登録)の可否を審議、採決する。(6月末~7月初)

Step 5 保有国は、緩衝地帯 Buffer zone を含む保護・管理 management の責任を有し、と定期的な保存状況 State of Conservation を世界遺産委員会に報告する義務を負う。



ICOMOSパネル風景 + 最後の晩

2. 日本登録の世界遺産この10年を振り返る

- ・ **石見銀山遺跡とその文化的景観**: 2007年の世界遺産委員会でイコモス勧告「登録延期」を覆して登録。
- ・ **平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群**: 2007年に最初の申請、2008年の世界遺産委員会で「登録延期」の扱い。2011年の登録は2010年に再提出した結果。
- ・ **武家の古都・鎌倉**: 2013年、イコモス勧告は不記載。申請取下げ。
- ・ **富士山—信仰の対象と芸術の源泉**: 2013年、条件付き登録。
- ・ **富岡製糸場と絹関連遺産群**: 2014年、ほぼ完ぺきな登録。
- ・ **明治日本の産業革命遺産**: 2015年、条件付き登録。
- ・ **長崎の教会群**: 2016年、イコモスが登録延期を予告。申請取り下げ。「**長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産**」として再推薦。2017年10月現在審査中。



Case 1: 2004年 紀伊山地と参詣道

- ICOMOSから提案文書にあった遺産名称(英文)のうち “and the cultural landscapes that surrounding them” を省くこと、という付帯条件。

- Cultural Landscape
「文化的景観」とは何か？について議論深まる。同時に
「聖なる山」が注目される。



Case 2: 2007年“石見銀山 Iwami Ginzan Silver Mine and its Cultural Landscape”



-- ICOMOSは、評価基準が十分証明されていないとして、日本の提案に対してはじめて「登録延期」を勧告。しかし、本番のユネスコ世界遺産委員会は、その勧告を退け、即登録を決議。

Case 3: 2008年 平泉 Hiraizumi – Cultural Landscape Associated with Pure Land Buddhist Cosmology”



産に対する評価をことごとく疑問とし、別の評価の視点を提案。“cultural landscape”をOUVとすることの難しさを知る。2010年に「**仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群**」に絞って再提案。翌年、登録を果たす。

Case 4: 2013年 富士山ー信仰の対象と芸術の源泉

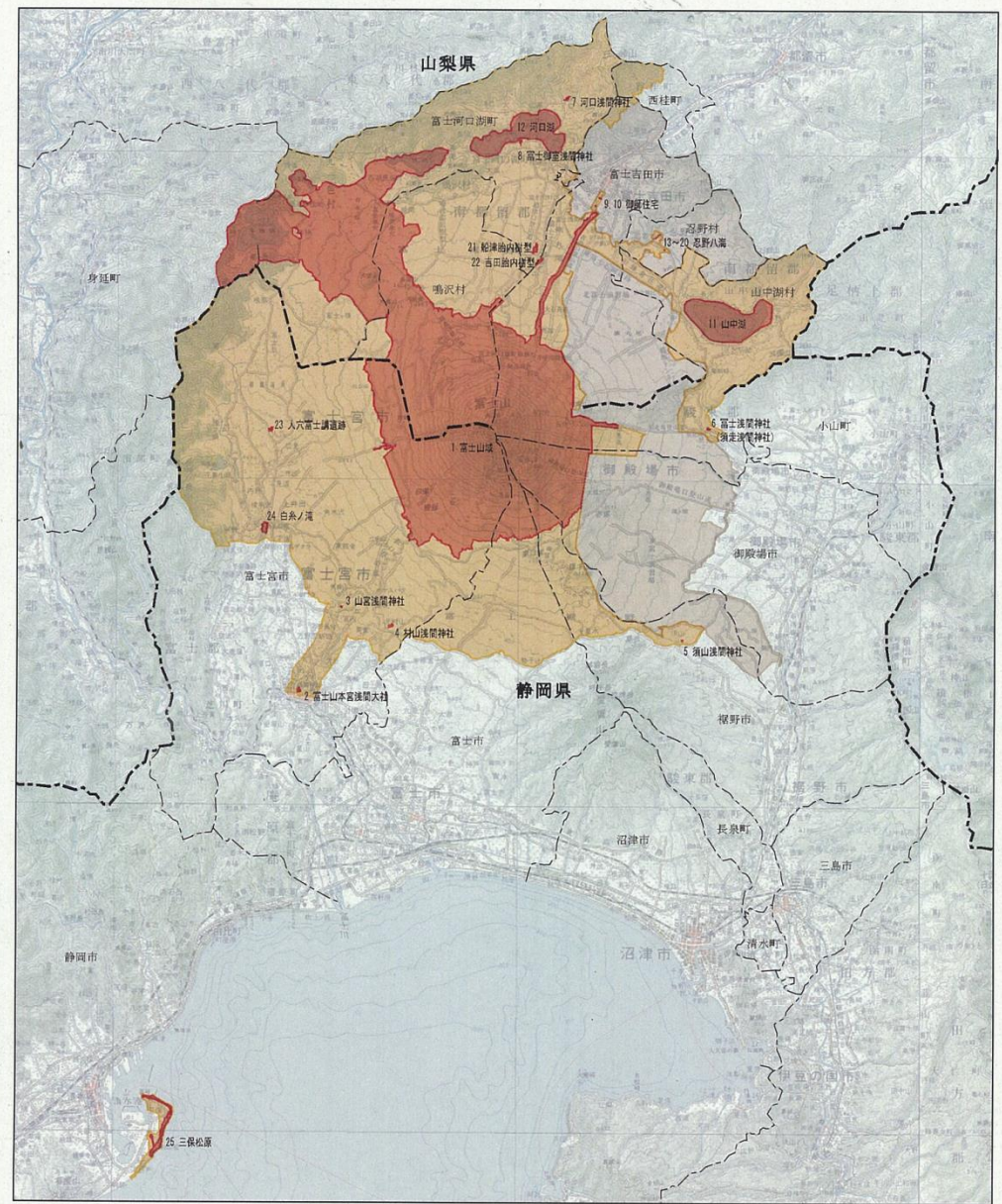
術の源泉 Fujisan – sacred place and source of artistic inspiration

- ・かつて自然遺産としての登録をあきらめ、信仰と芸術両面から文化遺産として復活し、登録を果たす。
- ・山体だけでなく、浅間神社・富士五湖・御師住宅など大小25の構成資産を一つの世界遺産とする。
- ・外国人グループから「自然美」の評価を督促される。



● 富士山の構成資産

- 1 富士山域(各登山道・西湖・精進湖・本栖湖など含む)
- 2 富士山本宮浅間大社
- 3 山宮浅間神社
- 4 村山浅間神社
- 5 須山浅間神社
- 6 富士浅間神社(須走浅間神社)
- 7 河口浅間神社
- 8 富士御室浅間神社
- 9 御師住宅(旧外川家住宅)
- 10 御師住宅(小佐野家住宅)
- 11 山中湖
- 12 河口湖
- 13-20 忍野八海
- 21 船津胎内樹型
- 22 吉田胎内樹型
- 23 人穴富士講遺跡
- 24 白糸ノ滝
- 25 三保松原

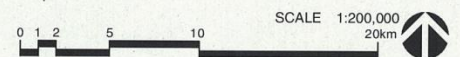


凡例

- 構成資産
- 緩衝地帯
- 保全管理区域

- 県 境
- 市 町 村 境

(富士宮市HP構成資産分布図より)



Note 「富士山」の登録に際しての世界遺産委員会による見解と勧告(条件付き登録の意味)

- ・世界遺産としての価値<信仰の対象と芸術の源泉>についての見解:

構成資産間の関係について容易に認知されること。個々の資産は、それら自体に意味があるのではなく、一つの大きな絵の中の要素。

- ・保全状況報告の勧告:

2016年の世界遺産委員会までに以下の提示。

文化的景観のアプローチによる全体ビジョン、来訪者戦略、登山道保全手法、情報提供戦略、危機管理計画進展状況。

Case 5: 2014年 富岡製糸場と絹産業遺産群



富岡製糸場(富岡市)
高山社跡(藤岡市)



田島弥平旧宅(伊勢崎市)
荒船風穴(下仁田町)



シリアル・ミニネーション

Note イコモスによる「富岡」の評価

明治時代初期まで遡る富岡製糸場は、二つの養蚕の教育施設及び蚕種倉庫を含む関連施設とともに、伝統的な生糸生産から急速に最善の大量生産手法に到達したことを表している。

日本政府は、フランスの機械及び工業の専門的知識を導入し、群馬県において生産過程システムを作り上げた。すなわち蚕種の生産、蚕の飼育、大規模な機械化された生糸生産施設という過程である。

一方、モデル工場としての富岡製糸場と関連資産は、19世紀末期に養蚕と日本の生糸産業の革新に決定的な役割を果たし、日本が近代工業化世界に仲間入りする鍵となった。

Case 6: 2015年 明治日本の産業革命遺産

// 製鉄・製鋼、造船、石炭産業に日本の産業革命を見る。

… OUV (顕著な普遍的価値)

// 8県にわたる23資産から構成。

// 保護法に依らない文化遺産保護

… 内閣官房主導で稼働資産含む

高島炭鉱端島炭坑



萩、恵比須ヶ鼻造船所



三池炭鉱万田坑



伊豆韮山
反射炉



※ Note 「長崎教会群」と「産業革命遺産」競合の背景

- ・2014年のユネスコ世界遺産委員会から、文化遺産候補の審査は、原則として各国1件に制限。
- ・日本国として、世界遺産の推薦業務を文化庁に限る、という法も政令もないため、他省庁が中心となって世界遺産業務を担当する道筋は、つねに残される。
- ・文化庁は長崎を、内閣官房が産業革命遺産を推し、9月に官房長官の裁量で決着。
- ・今後も巨大な土木構造物を国交省が推薦とか、広大な農耕地景観を農水省が推薦することも起こりうる。
- ・最終的に1件に絞り込む決断を何処で下すか、日本国と世界遺産制度への信頼度確保のためにもルールが必要。

Case 7: 2017年「神宿る島宗像・沖ノ島」



- ・原始的野外祭祀から社殿を構えた宗像大社三宮への変遷と古墳群。
- ・ICOMOSは沖津宮(沖ノ島)のみ価値ありとしたが、本委員会でその勧告が覆され、すべて登録。



3. 暫定遺産リストとその候補

◆ 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 (旧長崎の教会群)

多様な視点：16世紀のキリスト教伝来、その後の迫害・潜伏、
開国後の復活とパリミッション、「かくれ」、教会堂建築。

… わかりやすく見えて評価の視点（登録基準）が難しい。



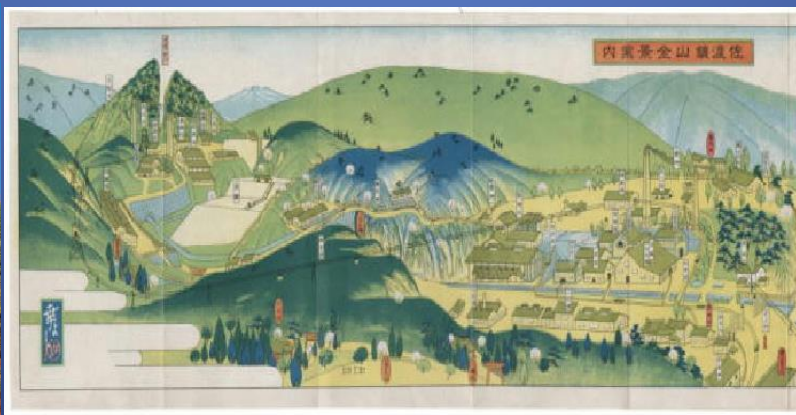
◆ 百舌鳥・古市古墳群

- ・ 前方後円墳の巨大さと形態の特異さは顕著な価値だが
 - … 墓としての真実性は？
 - 法律上の文化財としてではなく、立ち入れない陵墓として宮内庁による保存管理でよいか？
 - 高密な市街地環境はマイナスにならないか？



◆ 金を中心とする佐渡鉱山の遺産群

- ・近世初期に始まる相川金銀山・鶴子銀山・西三川砂金山ほかの資産から成る…シリアル・ノミネーション。
- ・相川には近代の採掘、選鉱の遺構もよく保存され、400年以上にわたる金生産システムとそれを支えた伝統的社会的物証がよく残る。絵図など資料も豊富。
 - …… 産業遺産としてどの程度完全か、資産の多くを所有する企業との調整、内外同種資産との比較研究、砂金山の見せ方など課題。

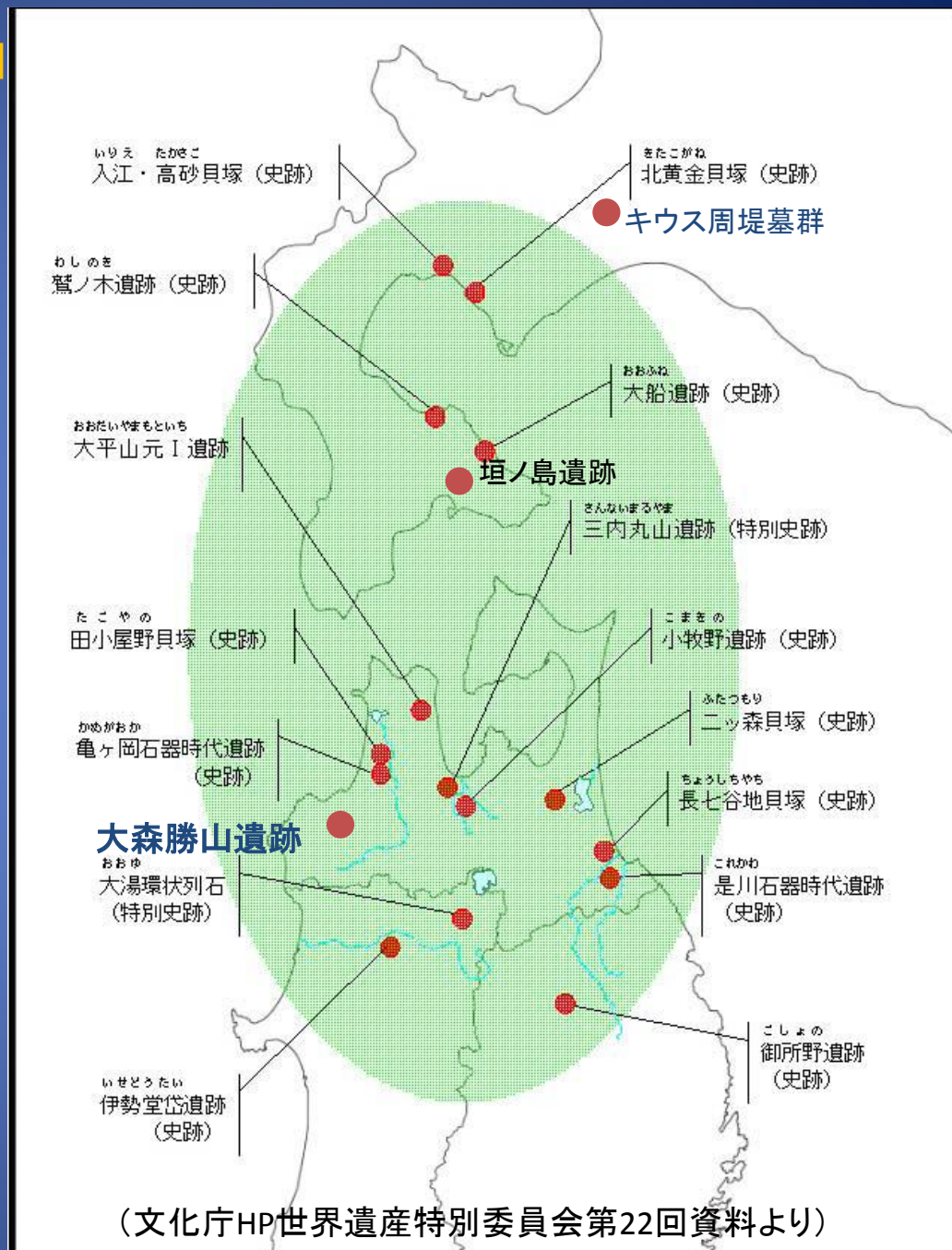


◆ 北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群

// 本格的な農耕と牧畜を選
択せず、狩猟・採集・漁労を
生業の基盤としながら定住
を達成。

// 土器の出現という新たな
文化的事象の開始から、灌
漑稲作農耕の開始をもって
終焉するまで、約1万年間
にわたって継続した日本列
島に展開した我が国特有の
先史文化。

(2013年準備状況報告による)



● あえて想定される課題

// 真実性／完全性の証明

とくに、シリアル・プロパティの観点から、18遺跡による完全性に議論の余地はないか。

また、構成資産及び周辺環境の保全に関する完全性の点検は十分できているか。

// 類似資産との比較研究

「日本国内で、北海道・北東北地域の縄文遺跡群が代表性・先進性を有する遺跡群であることを明らかにする」という自ら課した課題は、十分克服できたか。



◆ 日本の歴史と文化の豊かさを見直す機会に
暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補①

(国宝5城)



松本城・松江城

◆ 暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補②

(近世学校遺産)



水戸弘道館



足利学校



閑谷学校

◆ 暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補③



(岩国錦帯橋)



◆ 暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補④

(宇治茶景観)

山なり開墾の茶園



南山城地方の家並

◆ 暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補⑤

(立山砂防堰堤)



◆ 暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補⑥

(四国八十八箇所
霊場と遍路道)



52番 大山寺

53番 円明寺
参詣道



◆ 暫定遺産リストの改定を待つ各地の候補⑦

(妻籠宿と中山道)



◆ さらにほかにも...

天橋立

伊勢と出雲

国立代々木競技場
(オリンピック
フール)

茶室

大名庭園

たたら製鉄跡

銅鉾山

参考事例： ドレスデン・エルベ渓谷（ドイツ）

- ・2004年登録、2009年抹消。
 - (ii) the crossroads in Europe
 - (iii) European urban development
 - (iv) outstanding cultural landscape
 - (v) outstanding example of land use
- ・文化遺産カテゴリーは、site かつ continuing cultural landscape。
- ・2004年、価値を損なう4車線橋建設計画に警告。
- ・2006年、危機遺産リスト入り。
- ・2008年、世界遺産委員会から提案を推奨。
- ・2009年、市が橋の建設を進めたため、委員会は「世界遺産」「危機遺産」両方のリストから、削除を決議。ただし、再登録の余地を残す。



4. 結びーこれからどうなる世界遺産制度

◆ 何故?? 私たちは世界遺産を目指すのか。

- ・世界に向け、国土に刻み残された日本文化の豊かさを発信することができる稀有な手段。
 - ・地域にとって、自分たちの歴史と遺産に改めて目を向け、未来に向かう高い意識を育てる。
 - ・世界の多様な文化に目を向け、平和な世界の礎としての国際的感覚を醸成する契機となる。
 - ・波及的に、国の指導・自治体相互協力・助言者の活用・市民参加、バッファの考え方、さらに日本遺産、という新しい形の文化遺産の理念と活用を行政に反映。
- ▲ 地域の人的・経済的負担は経済効果を超えるかもしれない。地域社会にはそれだけの覚悟が求められる。

◆ 揺れる世界遺産制度:何故?? 文化遺産の枠が各国1件でなければならないか、を考える。

- ・ 今年、21件が新たに登録され、今や総数1073件。この数字が大きすぎて制度の危機なのか、制限するなど許しがたいという見方が正論か。
- ・ 毎年の世界遺産委員会は、新規登録候補の審査にだけ会議時間を費やすのではない。登録遺産すべてがモニタリングの対象となることを世界遺産条約は規定しており、全体のランニングコストは一方向的に右肩上がり。何らかの対策は避けられないのは事実。
- ・ ここまで国民的支持を得てきた日本として、世界遺産の根幹が揺がぬよう、新たなルール作りやマンパワーの貢献に積極的に動くときではないか。 以上

A photograph of a sunset. The sun is a bright yellow-orange circle just above the horizon, partially obscured by a thin layer of clouds. The sky is a gradient of orange and red. The foreground is a dark silhouette of a landscape with some trees and a small structure.

おしまい...です

ありがとうございました